

PROGRAM

波多野睦美が歌うイギリスの歌

サリーガーデン

DOWN BY THE SALLY GARDENS

2025年3月20日(木・祝) 14:00 開演

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

主催／ならdeこんさと 後援／西宮市、神戸新聞社 協力／Voice lab Lilikoi

プログラム

ROGER QUILTER (1877-1953)	クイルター
<i>It Was a Lover And His Lass</i>	それは恋人たち
BENJAMIN BRITTEN (1913-1976)	ブリテン編曲
<i>The Salley Gardens</i>	サリーガーデン
<i>Come You Not From Newcastle?</i>	ニューカッスルから来たのですか?
<i>The Trees They Grow So High</i>	木々は高く繁り
JOSEPH HAYDN (1732-1809)	ハイドン
<i>She Never Told Her Love</i>	彼女は恋を打ち明けませんでした
FRANZ SCHUBERT (1797-1828)	シューベルト
<i>Who Is Sylvia?</i>	シルヴィアって?
JOHANNES BRAHMS (1833-1897)	ブラームス
<i>5 Ophelia-Lieder, WoO 22</i>	5つのオフィーリアの歌
FRANCIS POULENC (1899-1963)	プーランク
<i>Fancy</i>	ファンシー
ERICH WOLFGANG KORNGOLD (1897-1957)	コルンゴルト
<i>Four Shakespeare Songs, Op. 31</i>	シェイクスピアによる4つの歌曲
<i>Desdemona's Song</i>	1. デズデモーナの歌
<i>Under the Greenwood Tree</i>	2. 緑の木の下で
<i>Blow, Blow Thou Winter Wind</i>	3. 吹けよ吹け 冬の嵐よ
<i>When the Birds Do Sing</i>	4. 鳥が歌う頃

BENJAMIN BRITTEN

ブリテン

A Charm of Lullabies, Op. 41

子守歌のおまじない

A Cradle Song

1. ゆりかごの歌

The Highland Balou

2. ハイランドの子守歌

Sephestia's Lullaby

3. セフェスティアの子守歌

A Charm

4. おまじない

The Nurse's Song

5. 乳母の歌

ピアノソロ

Suite "Holiday Diary" Op. 5 Sailing

組曲『休日の日記』より ヨットに乗って

Cabaret Songs

キャバレー・ソング

Tell Me the Truth About Love

1. 愛の真実を教えて

Funeral Blues

2. 葬儀のブルース

Johnny

3. ジョニー

Calypso

4. カリプソ

《解説》

本堂知彦

音楽のない国

本日のコンサートのタイトルは「波多野睦美が歌うイギリスの歌」。ところが、ここで歌われる7人の作曲家のうち、イギリス人はクilterとブリテンの二人だけです。これはどうしたことでしょうか。まずそのあたりの事情からお話しましょう。

20世紀初頭、あるドイツ人批評家はイギリスのことを「音楽のない国」と呼びました。こうしたイギリス音楽に対する見方は18、19世紀を通じてヨーロッパの人々が共通に抱いていたものでした。17世紀、時の国王チャールズ1世の専制政治に反旗を翻した議会派は、国王を追いつつ革命政府を樹立します。これが世に言うピューリタン革命です。革命政府は苛烈な改革を実行に移しますが、なかでも後世まで及ぶ甚大な影響を残したのが1642年の劇場閉鎖でした。厳格な信仰を重んじるピューリタンが主流を占める議会派は、風紀を乱し人心を惑わす諸悪の根源として劇場を目の敵にしたのです。

革命は20年足らずで挫折し、イギリスは王国に戻り劇場は再開しますが、この間にヨーロッパの劇場では新しい娯楽であるオペラが人気を集めていました。20年足らずの空白でしたが、イギリスはこの流行に完全に乗り遅れてしまいます。この遅れを挽回すべく、多くの優れた音楽家が大陸から招聘されるようになります。こうしてイギリスは音楽文化を海外に依存するようになり、その状況は19世紀後半にエルガーが現れるまで続きます。

エルガーの国際的成功をきっかけに、イギリスには若く有能な作曲家が次々と現れるようになり、ようやくイギリスは「音楽のない国」からの脱却を果たします。今日歌われるイギリス人作曲家は、二人ともこの時代の後に生まれました。

クilterとブリテン

その一人ロジャー・クilterは、20世紀初頭に流行したライトミュージックと呼ばれる大衆的なクラシック音楽の作曲

家でした。〈それは恋人たち〉はシェイクスピアの喜劇《お気に召すまま》の歌詞に作曲された作品で、のどかな田園風景を思わせる佳曲です。

一方のベンジャミン・ブリテンはイギリスの現代音楽を代表する作曲家です。ブリテンの作曲に民謡的要素は希薄ですが、そんなブリテンも多くのイギリス民謡を編曲しています。良心的兵役拒否によりブリテンは盟友であり同性愛の恋人でもあった歌手、ピーター・ピアーズとともにアメリカに渡りません。ブリテンが民謡を編曲した背景には、アメリカの地でピアーズとともにイギリス民謡を披露することを求められたという事情もあったようです。

ヨーロッパに引き継がれたシェイクスピア

イギリスが音楽的不毛の時代を過ごしていた18世紀後半から19世紀前半にかけて、ヨーロッパではちょっとしたシェイクスピア・ブームが起こります。イギリスの劇団がヨーロッパ各地でシェイクスピアを上演し、劇団の女優に熱烈な恋をしたベルリオーズがその経験をもとに名作《幻想交響曲》を書いたのは有名な話です。このエピソードからもわかるように、シェイクスピア劇はヨーロッパの多くの作曲家にインスピレーションを与えました。

ハイドンがシェイクスピアの名作喜劇《十二夜》に作曲した〈彼女は恋を打ち明けませんでした〉では、女性でありながら異国の地で生き抜くために男装し、ある若い侯爵に仕えることになった主人公が、密かに慕う侯爵に向かって、妹の話と偽り自らの恋心を語ります。

シューベルトの〈シルヴィアって?〉は恋と友情を天秤にかける喜劇の問題作《ヴェローナの二紳士》から。シューベルトはドイツ語訳に作曲しましたが、今日はオリジナルの英語版で歌われます。

オペラなどの舞台芸術には縁遠かったブラームスですが、ある女優からの依頼でシェイクスピアの《ハムレット》のため

の歌を作曲しました。歌手ではなく女優が劇中で歌うことを考慮して、あえてシンプルに書かれています、それが古雅な趣を生み、恋人に捨てられたと思ひ込みついに正気を失ったオフィーリアの悲しみを浮かび上がらせます。

プーランク最後の歌曲となった〈ファンシー〉は、ある貴婦人の求めに応じて「子供のために」書かれた曲です。《ヴェニス商人》のこのシンプルな歌にプーランクは「マイルズとフローラに」という副題を付けました。これはヘンリー・ジェイムズの怪談《ねじの回転》の中で幽霊によって邪悪な世界に引き込まれる幼い兄と妹を指します。プーランクは私たちに解けない謎を残して世を去ったのです。

前半最後の**コルンゴルト**はオーストリアに生まれましたが、ユダヤ人であるために第2次世界大戦が始まるとアメリカに亡命し、映画音楽においても重要な仕事をしました。シェイクスピア劇の上演のために書いた《**シェイクスピアによる4つの歌曲**》は、最初の曲が悲劇《オセロ》の中で、夫であるオセロから不貞を疑われたデズデーモナが自らの運命を嘆く有名な〈柳の歌〉、残りの3曲は牧歌的な《お気に召すまま》からで、それぞれ宮廷を離れた森の中での喜びを歌う〈緑の森の木の下で〉、やせがまんが愉快的〈吹けよ吹け、冬の風〉、そして恋する男女を歌う〈小鳥たちが囀るときに〉と続きます。最後の曲はキルターの曲と同じ歌詞によるものです。

グレート・ブリテン

後半は**ブリテン**の作品です。《**子守歌のおまじない**》は、古い時代の詩人たちによる子守歌をテキストとするユニークな連作歌曲集です。1曲目はロマン派初期の詩人で画家のウィリアム・ブレイクの詩による〈ゆりかごの歌〉、2曲目はスコットランドの国民詩人ロバート・バーンズによる〈ハイランドの子守歌〉、3曲目はルネサンスの劇作家ロバート・グリーンによる物語《メナフォン》からの〈セフェスティアの子守歌〉、4曲目はルネサンス末期の劇作家トマス・ランドルフの戯曲

《嫉妬深い恋人たち》からの〈おまじない〉、そして最後がやはりルネサンスの劇作家ジョン・フィリップの戯曲《辛抱強いグリセル》からの〈乳母の歌〉という構成ですが、子守歌ばかりを連ねながらもそれぞれの性格を際立たせ、しっかりとした構成感を見せているところにブリテンの面目が窺えます。

ブリテンは大変なピアノの名手でしたが、ピアノ独奏曲は必ずしも作曲の中心ではありませんでした。そんな中で21歳のときに作曲した《**休日の日記**》には、海と水泳が大好きだったベンジャミン少年の姿が刻まれているようで、ブリテンのピアノ曲のなかでは人気の一作となっています。〈ヨットに乗って〉はその第2曲で、ゆっくりと滑るように進むボートと、陽の光にきらめく海面が目浮かびます。中間部では風が出てボートが揺れますが、やがてまた穏やかな海に戻ります。

プログラム最後は20世紀の重要なイギリスの詩人であるW.H. オーデンとの共同作業から生まれた《**キャバレー・ソング**》です。この曲集は〈愛について本当のことを教えて〉、〈葬式のブルース〉、〈ジョニー〉、〈カリブソ〉の4曲からなり、皮肉であったり、深刻であったり、ウィットに富んでいたりと、ブリテンの様々な魅力が戦前のキャバレーのスタイルで歌われますが、〈カリブソ〉にヴィラ・ロボスの〈カイピラの小さな汽車〉からの影響を聴き取ることもできそうです。この曲集は作曲者の死後になって初めて出版されました。

《歌詞大意》

波多野睦美

それは恋人たち

詩：シェイクスピア William Shakespeare (1564-1616)

青い麦畑を越えてゆく 春の素敵な日 小鳥は歌う
恋人たちは春が大好き 人生は花のようにはかない

サリーガーデン

詩：イェイツ William Butler Yeats (1865-1939)

柳の庭であの人と出会った 彼女は雪のような
白い足と白い手をして 僕に言った
「人生を 恋を 気楽に考えましょう」
その言葉にうなずかなかった僕 今はひとり涙を流す

ニューカッスルから来たのですか？

作者不詳

私の恋人に会いませんでしたか
なぜ愛してはいけない？
なぜ愛されてはいけない？
愛はすべて自由なものなのに

木々は高く繁り

作者不詳

葉は青々と育つ
いくつもの冬を 彼と私は共に育った
父親は彼を大学へ送り 彼は育っていった
16歳で結婚し 17歳で息子ができた
18歳の時 死が彼を襲った
その墓の上 草が青々と育つ
今 私の元で 彼の息子が育つ
死の時まで 見守ろう その子が育つのを

彼女は恋を打ち明けませんでした

詩：シェイクスピア William Shakespeare

彼女は決して恋を打ち明けませんでした
そのバラ色の頬に 思いを秘めたまま
悲しみに向かって微笑みかけていました

シルヴィアって？

詩：シェイクスピア William Shakespeare

みんなが夢中になっているシルヴィアって どんな子？
きれいな上に性格もいいって？
キュービッドもその魅力にまいるほど
さあ! みんなでシルヴィアを讃えて歌おう

オフィーリアの5つの歌

詩：シェイクスピア William Shakespeare

- 1 本当の恋人はどうやって見分ける？
巡礼の杖と帽子 サンダル
あの人は死んでしまった
頭の上には緑の芝草 足元には石
- 2 経帷子は雪のように白く
花に飾られています
涙に静かに濡れて
お墓に行きましょう
- 3 明日は聖バレンタインの日
窓辺に立つ私 彼のバレンタイン
彼は乙女を部屋の中に入れました
出てきた時には乙女ではありませんでした
- 4 みんなであの人を選びました
お墓へ流れたたくさんの涙
歌わなくては あの人は死んでしまった
- 5 彼はもう死んでしまった あの人は戻ってこない
ひげは雪のように白い 悲しんでも無駄なこと
彼が天国へ行けますように

ファンシー

詩：シェイクスピア William Shakespeare

幻想はどこにある？
心に それとも頭に？
どんなふうにも生まれる？ 教えて
恋の幻想は ゆりかごの中で死ぬ
吊いの鐘を鳴らしましょう

シェイクスピアの4つの歌曲

詩：シェイクスピア William Shakespeare

- 1 かわいそうなひとが歌っていた
シカモアの木の下 手を胸に 頭を膝に乗せ
柳 柳 柳の歌を歌いましょう
小川は静かに 娘の嘆きを歌う
- 2 緑の森の木の下で
私と一緒に寝そべてみたい人は？
楽しい歌を小鳥と一緒に歌いたい人
ここへおいで 誰もこない 緑の森の木の下へ

- 3 吹け 冬の嵐
吹け 冬の嵐よ
お前は世の人々よりも優しい
さあ歌え 友情は見せかけ 恋は愚か
人生は馬鹿騒ぎさ
- 4 小鳥が歌う季節
青い麦畑を越えてゆく 春の素敵な日 小鳥は歌う
恋人たちは春が大好き 人生は花のようにはない

キャバレー・ソング

詩：オーデン Wystan Hugh Auden (1907-1973)

『愛の真実を教えて』

愛の神様は小さな男の子だそう 野の鳥とも
ある人は 愛は地球を丸くするって
またある人は 愛は不条理だと
訳知り顔の隣の男に聞いてみたら 奥さんが激怒
愛って ペアのパジャマみたいな？
良い匂い？ ギザギザしている？
いろんな所を探してみたけれど見つからない
愛ってどこにある？ どんな顔？ 誰か愛の真実を教えて

『葬儀のブルース』

時計を止めろ 電話を切れ ピアノを黙らせろ
棺を運び出せ 飛行機を飛ばし空に書かせろ
彼は死んだ と
彼は私のすべての方角 時間 歌だった
愛は永遠だと思っていた 間違っていた
月も太陽も消えろ 何もかも！

『ジョニー』

夏の日 ジョニーと谷川をお散歩
小鳥は愛を語り 私は彼の肩にもたれた
ああジョニー楽しみましょう！ でも彼は行ってしまった
クリスマスの夕べ ダンスパーティーへ行った私たち
ジョニーはハンサムで誇らしかった
ああジョニー抱きしめて！ でも彼は行ってしまった
オペラの夜 みんな着飾ってキラキラ
ああジョニー天国ね！ でも彼は行ってしまった
素敵なジョニー スリムで背が高く エッフェル塔のよう
ああジョニー結婚して！ でも彼は行ってしまった
昨夜あなたの夢を見た ああジョニー 私の太陽
行ってしまった

『カリブソ』

運転手さん 急いで 速く！
駅で彼が待っている
着いたとき彼がいなかったら
泣いて立ち尽くすしかない
もっと速く！ 愛の神様は政治家より重要な権力者！
速く！ 速く！ 速く！

子守歌のおまじない

『ゆりかごの歌』 詩：ブレイク William Blake (1757-1827)

お眠りかわいい子 楽しい夜の夢
あなたの顔に静かな望みが浮かぶ
秘密の楽しみ 秘密の微笑み
小さなかわいい赤ん坊の企み
小さな心が目を覚ましたときには
まるで恐ろしい雷のよう！

『ハイランドの子守歌』 詩：バーンズ Robert Burns (1759-1796)

ねんねんころり かわいいドナルド やんちゃな族長さん
美しく荒々しいお前の国 ハイランド
隅々まで旅しなさい 国境を越え そう坊や 遠くへと！

『セフェステアの子守歌』 詩：グリーン Robert Greene (1558-1592)

泣かないで 私の坊や お膝で笑って
大きくなったら悲しい事はいっぱいあるの
坊やは笑う お父さんは泣く 子供が笑うほど私たちは泣いた
悲しみを隠せない お父さんはかわいい息子置いて行く
泣かないで 坊や 大きくなったら悲しい事はいっぱいある

『おまじない』 詩：ランドルフ Thomas Randolph (1605-1635)

静かにしなさい！ 寝るの！ さもないと……
魔女の蛇のムチで叩かれる
煮えたお湯に投げ込まれる
心臓は焼け 頭は痛んで 体中がガタガタになる
地獄の犬が吠えかかる だから寝なさい！

『乳母の歌』 詩：フィリップ John Phillip (fl.1561)

ねんねんころり 可愛い子 ねんねんころり
悲しい事はどこかへやっけてしましましょう
優しくゆすって眠らせてあげましょう
ちゃんとお世話をしてあげましょう
ねんねんころり 可愛い子 おやすみなさい

プロフィール

波多野 睦美 MUTSUMI HATANO

メゾソプラノ

シェイクスピア時代のイギリスのリュートソングでデビュー。バッハ、ヘンデルなどの宗教作品やオラトリオのソリストとして寺神戸亮、鈴木雅明、C. ホグウッド指揮他の多くのバロックオーケストラと共演。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」皇后オッターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」女王ダイドーなどを演じ、深い表現力で注目される。間宮芳生作品のアメリカでの世界初演、オペラ「ポポイ」、サイトウキネン武満徹メモリアル、水戸芸術館「高橋悠治の肖像」、サントリーホール「作曲家の個展2013権代敦彦」他に出演。

「歌曲の変容」と題したシリーズを2005年から王子ホールで続けている。

放送では「名曲アルバム」「BSクラシック倶楽部」他に出演。CDでは、古楽器との共演による「イタリア歌曲集」他、高橋悠治との「冬の旅」「ねむれない夜～高橋悠治ソングブック」、ギタリスト大萩康司との「プラテロとわたし」など多数。2022年発表のバンドネオン北村聡との「想いの届く日」は、各新聞、音楽専門誌、オーディオ誌など様々なメディアにとりあげられ高い評価を得た。

辻 ゆり子 YURIKO TSUJI

ピアノ

大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアニスト。ピアノ教育者。第10回熊楠の里音楽コンクール第1位。右近恭子、菊地裕介の両氏にピアノを師事、D. ボールドウィン、益子明美の両氏に伴奏法を師事、チェンバロを戸崎廣乃、大塚直哉の両氏に師事している。英国、スイスなどのマスタークラス修了。伴奏者として、波多野睦美、高橋薫子、栃尾克樹、ゲルノート・ヴィニシュホーファー、アテフ・ハリムなど著名な音楽家との共演を重ねている。近年はコンサート企画にも力をいれており、2018「東大寺本坊音楽の調べ」12公演をコーディネート、「きたまち茶論コンサートシリーズ」を手掛ける。京都フランス歌曲協会、ソワレの会各会員。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。ならdeこんさーと主宰 <https://naradeconcert.com>